

実際の1日のスケジュールを教えて頂きましたが、子育てをしながら朝早くから働いておられて、びっくりしました。働き方はとてもフレキシブルで、センター内でのコミュニケーション、連携がよく取れており、急な休みに対する応援体制が整っており、勤続年数が10年を超える医師もたくさんいるというお話を伺い、これが長続きする秘訣であることを学びました。西平先生はライフイベントを経験した際に、先輩医師から「細く長く仕事をすればいい」とアドバイスもらったことが大きな転機になったとお話されていて、豊見城中央病院附属健康管理センターでの働き方は、この4月から始まった医師の働き方改革ともあわせて、私たち医師一人一人が心も体も健康な状態で、医師という仕事を長く続けていくためのヒントを頂くことができました。また、人間ドック専門医制度についてもご紹介いただいたのですが、オンラインで講習を受けることができるなど、学会自体も働き方に配慮した体制を組んでいることがわかりました。

全体を通して、いかに私自身が健診の制度や業務を理解していないのかがよくわかりました。質疑応答の中でも出ていた、健診/検診異常に対する患者さんへのアプローチについては、それぞれの疾患ごとのガイドラインを確認すること、また人間ドック学会のHPでは厚生労働省からの通知などもわかりやすく閲覧でき、これを参考にすると良いことを教えていただきました。また健診異常の紹介状を持ってくる患者さんに対する私たちの返書がとても重要であること、健診センターの精度管理が評価され、それが公表されていることも初めて知りました。

お二人の先生が毎日の診療の中で、患者さんの目線を大切にして、いかに自分の健康に関心をもって毎日の生活を送り、受診に繋げることができるか、行動変容を促すことができるかについて、きめ細やかに配慮した対応をされていることを伺いとても勉強になり参考になりました。

今回ご講演いただいた大城先生、西平先生、ご参加くださった皆様に感謝申し上げます。そして次回のドクターズフォーラムもぜひお楽しみに!!

お 知 ら せ

暴力団追放に関する相談窓口

暴力団に関するすべての相談については、警察ではもちろんのこと、当県民会議でも応じており、専門的知識や経験を豊富に有する暴力追放相談委員が対応方針についてアドバイスしています。

暴力団の事でお困りの方は一人で悩まず警察や当県民会議にご相談下さい。

●暴力団に関する困り事・相談は下記のところへ

受 付 月曜日～金曜日（ただし、祝祭日は除きます） 午前10時00分～午後5時00分

TEL (098) 868-0893 なくそうヤクザ 862-0007 スリーオーセブン

FAX (098) 869-8930 (24時間対応可)

電話による相談で不十分な場合は、面接によるアドバイスを行います。

「暴力団から不当な要求を受けてお困りの方は……悩まずに今すぐご相談を（相談無料・秘密厳守!）」

財団法人 暴力団追放沖縄県民会議